

## 目次

新病院長挨拶	1
退職者挨拶	1
診療科案内「スポーツ・膝疾患治療センター」	2
看護部だより	3
「南甲府警察署より感謝状を頂きました」	3
「長沼先生が山梨日日新聞より取材されました」	4
お知らせ	4
患者数	5
糖尿病教室お食事会	5
平成28年度 障害者虐待防止研修会	6
外来医師担当表	7

発行 : 独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会  
発行責任者 : 萩野 哲男  
住所 : 〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
電話 : 055-253-6131  
ファックス : 055-251-5597  
ホームページ : <http://www.hosp.go.jp/~kofu-hospital/>  
Eメール : [kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)



「新採用者オリエンテーション」

4月より甲府病院の一員となりました。これから、社会人として、専門職業人として、知識と経験を重ね、頑張っていきたいと思っております。

(平成29年度新採用者一同)



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念  
National Hospital Organization Kofu National Hospital

## 理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

## 基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします  
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

## 新 病 院 長 挨 拶



病院長 荻野 哲男

平成 29 年 4 月 1 日付けで国立病院機構甲府病院の院長に就任致しました。平成 9 年に整形外科医として当院に着任してから、早いもので、勤続 20 年となります。その間、多くの諸先輩方にご指導頂き、同僚や後輩、職員の方々に支えられ、また整形外科の診療を通して患者さんや家族の方々と接し、今日に至りました。歴史のある病院の院長となり、責任の重さに身の引き締まる思いが致します。

当院の主な診療機能として重症心身障害医療、周産期医療、小児医療があります。この分野は国立病院機構が担うべき政策医療のひとつで、地域で重要な役割を果たすべく、この分野の維持と充実に努めてまいり

ます。また一般地域医療のほかに、特化した医療としてスポーツ、膝疾患に対する内視鏡を使った最新治療や消化器疾患に対する腹腔鏡手術など、当院の得意な分野を推し進めていきます。

これからは競争より協調の時代で、他の医療機関とのすみ分けが必要となってきます。病院の機能分化をさらに進め、得意分野を集中強化し、患者さんに選ばれる病院を目指していきたくと考えています。

進む先には幾多の困難が待ち受けますが、一步一步、職員一丸となって前に進んで行きたいと思えます。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 退 職 者 ご 挨 拶



(前) 7 病棟副看護師長

長田 敦子

(おさだ あつこ)

定年？ 正直まだ実感がありません。国立病院に看護学校ができた年に学び舎をここにし、天神町に 42 年も通ったこととなります。緊張した学生時代の経験や、就職してからの数えきれない程の患者さんとの出会いとお別れがありました。いつを回想してみても大切な出会いです。幼い頃に憧れた職業、夢をかなえて今日まで勤められてきました。「初心」これからの人生もあの時を思い出したい。看護師を選んだ人生、私の誇りです。



(前) 外来看護師

佐野 ひさみ

(さの ひさみ)

昭和 53 年 4 月に国立甲府病院に就職しました。当時は、定年退職の事など考えもしませんでしたが、今日この日を迎えることになりました。今日まで「看護」という仕事を続けられたのも多くの方々の支援があったからと感謝するのみです。患者さん、上司、先輩、同僚、友人、家族に「ありがとう」。そして、看護師の制服である白衣に「ありがとう」の言葉を贈りたいです。



(前) 6 病棟看護師

和田 玲子

(わだ れいこ)

平成 14 年 3 月、国立療養所西甲府病院に採用されてから早いもので 15 年が過ぎました。病院での業務は、初めての事ばかりでしたので戸惑うことも多かったのですが、諸先輩、同僚のご指導もあり無事勤務できましたことにとても感謝しています。重病棟に 15 年勤務して、看護のあり方等考えることもたびたびありました。これからの甲府病院は、患者さんの為にも、職員の為にも、更により良い病院であってほしいと思えます。



(前) 7 病棟准看護師

奥島 富士子

(おくしま ふじこ)

昭和 52 年大雪の中、長靴を履き、国立甲府病院に面接に向かい、外科病棟勤務となりました。看護技術は先輩をよく見て、自分の力で身に付けたいと……。無我夢中で 1 日 1 日を過ごしました。

看護師を続けながら、結婚し気がつけば、子供も成長し孫にも恵まれました。幸せな人生だったと思えます。これもすべて、両親、そして、良き上司、同僚、医師、他部門のスタッフ、患者さんのおかげです。40 年間楽しく、この日を迎えることができました。心から感謝です。ありがとうございました。

## 診療科紹介

# 「スポーツ・膝疾患治療センター」

スポーツ・膝疾患治療センター長 落合 聡司

2017年2月8日に放送されたYBS ワイドニュース内の特集『山梨最前線』で、国立病院機構甲府病院のスポーツ・膝疾患治療センターで行っている「自家培養軟骨移植術」が最新治療として放映されました。自家培養軟骨移植術は再生医療の一つで、治療の難しかった広範囲な関節軟骨の損傷に対応、手術後は痛みが緩和し、スポーツへの復帰も可能となります。



関節軟骨は、骨同士が接する関節の表面を覆っている組織です。その約80%は水分で構成されており、衝撃を吸収するクッションのような役割や関節の動きを滑らかにする役割を担っています。損傷した場合は、疼痛や引っかかり感などを伴うことが多く、関節の機能に支障をきたします。

関節軟骨は自己修復が難しく、スポーツや交通事故などで広範囲に損傷した場合は、手術でも対応が困難でした。これに対し開発され注目されているのが自家培養軟骨移植術です。

自家培養軟骨の移植には、計2回の手術が必要となります。最初の手術で患者さんの関節から軟骨を少量採取し、軟骨細胞とコラーゲンの一種「アテロコラーゲン」を混ぜて培養します。4週間で500円玉大の自家培養軟骨が生成され、2回目の再手術にて損傷箇所に移植します。



自家培養軟骨移植術は少量の軟骨採取で広範囲な病変に対応できることや、患者さん本人の組織を使用するため拒絶反応が極めて少ないことなどのメリットがあり、治療有効率は90%以上であることが確認されています。

培養軟骨移植術をはじめとした関節の再生医療は日々発展を遂げています。今まで十分な治療が受けられなかった患者さんも、諦めずに当センターに足を運んでいただければと思っています。

# 看護部だより

## 「今年も新採用者が仲間入りしました」

教育担当看護師長 大宮 茂美

今年も桜の見頃とともに、私達の新たな仲間として、新採用者25名を迎えることができました。新採用者と言っても年齢、経歴は様々です。多くの方は、高校卒業後看護大学や看護学校入学、就職という経歴ですが、中には「今まで全く別の職業に就いていたけど、あるきっかけで看護師を目指した」という人、お子さんがいる人などなど。ということは、年齢も21歳から40代まで幅広く、そのような人達が「同期」として入職



しました。当院では、例年入職1週間は「職場への早期適応と医療の実践者としての基本的な能力を修得する」ことを目的に『新採用者オリエンテーション』を実施していましたが、今年度から名称を『新採用者研修』とし、院内教育のラダーレベルⅠとして研修を開始しました。今までと違う点は、各研修の目的・目標を提示し意識付けをしたこと、評価表を使用したことですが、これは研修生だけでなく、講師にとっても何を学んでもらいたいか明確になり、効果的だったと思います。



各部署で印をしてもらいます



今年度のトピックスは院内オリエンターリングです。今までは全体で各部署（他職種）の講義を聞き、看護師長が院内を案内していましたが、今年度は「チーム医療」について講義を受けた後、多少のヒントをもとにグループごとに院内を散策し、各部署で説明を聞いてくるという方法を取りました。目標は10か所でしたが、残念ながら時間内に達成したグループはありませんでした。しかしボーナスポイントがつく看護部長室に行けたグループが2つあり、病院名の入ったボールペン・メモ帳を頂くことができました。

寝たきりの方を車椅子に乗せるには  
どうするんだっけ？



また看護技術の研修も変更しました。現場ですぐに必要な技術である「患者確認方法」「酸素の取り扱い」「移乗」「正しい与薬方法」を副看護師長達が指導しました。看護技術の演習になると新採用者の顔もより真剣になり、職場での実践に近づいているという緊張感が高まっていたようでした。

このような研修を経て、いよいよ4月10日から各看護単位での勤務が開始となりました。

看護師としての期待と不安を持って第1歩を踏み出した新採用者の皆さんが、1年後笑顔で後輩を迎えられるよう私も見守り、関わっていきたくと思います。

## 「南甲府警察署より感謝状を頂きました」

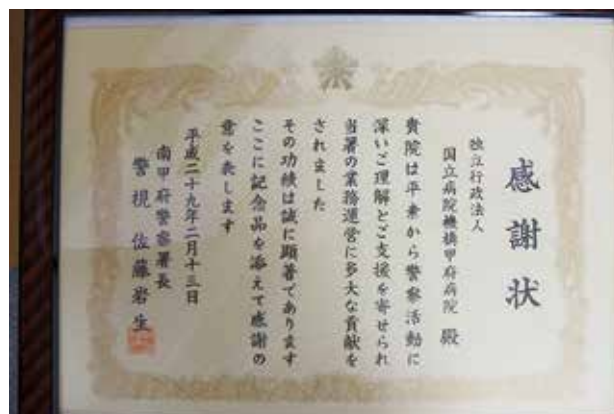
(前) 経営企画係 山田 昌弘

平成 29 年 2 月 13 日、甲府市公民館において、南甲府警察署による「警察署長感謝状贈呈式」が行われました。当院も地域の安全確保のため、警察活動への支援、協力を果たしてきた施設として、この式典において感謝状を頂きました。

今後も地域の安全のため、皆様に貢献できる施設であり続けるよう努めて参ります。



感謝状贈呈式の様子



南甲府警察署より頂いた感謝状

## 「長沼先生が山梨日日新聞より取材されました」

～ 高齢運転者の認知症対策 ～

名誉院長 長沼 博文

最近、山梨日日新聞の記者から高齢運転者の認知症対策について取材を受け、2月24日の新聞にその内容が掲載されました。背景としては、平成29年3月から改正道路交通法が施行され、認知症対策が強化されることがあります。認知症になる前段階として「軽度認知機能障害 MCI (mild cognitive impairment)」があり、さらに進行すると「認知症」となります。MCI の段階では、運転免許の更新は出来ませんが、認知症となると免許の更新は出来ません。改正道路交通法では、75歳以上の高齢者が交通違反を起こした時、又免許更新の時には、認知機能の簡単な試験を行い、認知症が疑われる時には医療機関で認知症かどうか診

断を受けるように指示されます。認知症と診断されると、免許を自主的に返納するか、診断書を持って警察署に行き免許失効となるかの選択を迫られます。MCI と診断された時は、免許は失効しませんが、半年後に認知症かどうか再検査を受けなければなりません。問題は、明らかな認知症であれば診断は困難ではありませんが、MCI と認知症の境界領域の場合は診断が困難で、頭部 MRI 検査、神経心理検査、脳血流シンチ検査等を行い、専門医による診断が必要となると思います。いずれにしても、認知症の診断を受け入れる診療所や病院は限られ、認知症専門医も少ない状況です。で、担当する医師への負担が大きくなりそうです。

おしらせ

# 春の健康フェスタ

平成 29 年 6 月 15 日（木曜日） 午前 9：00～11：30 外来 2 階 採血室前

毎年 5 月はナイチンゲール生誕を記念し、全国で「看護の日」と呼んで健康に関するイベントを行っていますが、甲府病院では、本年 6 月に全ての職種のスタッフが協力して「健康フェスタ」として開催します。

外来 2 階にブースを設け、健康相談など地域の皆様のお役に立つ企画を検討中です。なにが出るかはお楽しみ。ぜひ、お立ち寄りください。  
（写真は昨年の様子です）



## 5月1日より電子カルテへ移行します

平成 29 年 5 月 1 日より当院は電子カルテへ移行します。  
詳細につきましては、随時、院内掲示などによりお知らせいたします。

### 平成 28 年度一日平均患者数

#### 入院

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	93.5	94.0	94.2	95.5	103.6	93.4	82.5	98.2	96.1	94.5	101.9	104.1	95.5
重心	123.0	123.8	125.0	126.5	126.5	126.8	125.4	123.2	123.8	123.4	122.6	123.8	124.2
計	216.5	217.8	219.2	222.0	230.1	220.2	207.9	221.3	219.9	217.9	224.5	227.9	219.7

#### 外来

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	287.3	302.7	280.1	293.9	288.0	300.2	299.5	292.2	307.8	299.9	283.3	298.6	294.2

## 糖尿病教室お食事会

2月11日(土・祝)に  
「糖質制限」をテーマに  
糖尿病教室お食事会を開催しました。



講義風景

当日のお食事

食後の運動

今回のお食事会には、42名の方に参加して頂き、食事会の他、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士による講演、および、血糖値測定の実習を行いました。参加された方からは「全体的にわかりやすかった。一人で考えるより食事会に参加すべきとつくづく思った」「日常の食事について反省し本日の内容を参考にしたいと思います。参加してよかったです」といった感想を頂きました。

今年度もこの「糖尿病教室お食事会」は11月と2月に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

## 平成28年度 障害者虐待防止研修会

療育指導室長 西巻 靖和

2月28日院内において、甲府病院障害者虐待防止委員会主催の「平成28年度障害者虐待防止研修会」が開催されました。院内の様々な職種から約60名の参加がありました。

この研修会は平成24年10月1日に施行された「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」（いわゆる障害者虐待防止法）に基づき、施行された年度から毎年開催されています。能動的な研修会を目指し、グループワーク等から参加者が知見を蓄積できるような研修会が行われています。

今回は同法が施行されて4年が経過する中、新しい職員も増え、まずは同法の理解とそれを実際の重症心身障害病棟でどのような視点で取り組んでいくかを確

認するため、「障害者虐待防止法と療養介護等における社会・生活モデル支援について」と題し療育指導室長による説明が行われました。次にグループワーク「事例の分析から考える不適切な対応の抽出と本来の対応の検討」として、架空の不適切な事例を用いて、副看護師長及びサービス管理責任者を担う保育士がファシリテーター役となり、8グループで不適切な対応を抽出、支援者としてまた組織としてはどうあるべきかを検討し、その発表がありました。参加者は他のグループの様々な視点に聞き入っているようでした。

この研修会は甲府病院職員が患者・利用者さんの権利擁護等を考える上で重要な機会であり、今後も更に拡がりをみせ開催されていく予定です。

# 外来医師担当表

平成29年4月1日現在  
…女性医師等

			月	火	水	木	金
一階診察室	消化器内科	診察室	廣瀬 (受付は10:30まで)	稲岡	鈴木(雄) (受付は10:30まで)		稲岡
	消化器外科	診察室1	鈴木(哲)	鈴木(哲)		鈴木(哲)	第1・3・5週 鈴木(哲) 第2・4週 浅川
		診察室2	浅川	浅川	土屋		土屋
		診察室9	牧(第2週のみ)				
		化学療法(5階)	診察室1			鈴木(哲)	
		診察室2			浅川		
	内科	診察室3		武田			
		診察室4	黒澤 (予約のみ)	黒澤	黒澤	樋口	黒澤
		診察室5	樋口	古屋(直)	古屋(直)	中尾	内沼
		診察室6				渡邊	
	循環器内科	診察室3	田草川(正)		田草川(正)	田草川(正)	
		診察室6	葉袋	中村(貴)			田草川(き) (予約のみ)
	呼吸器内科	診察室3・6			(午後) 曾我美		星野 (受付は10:30まで)
	神経内科	診察室7			太田(恵)		太田(恵)
	脳神経外科	診察室8	長沼	長沼	長沼	長沼	大学医師
皮膚科	診察室9(共用)			川村			
整形外科	診察室10	整形外科	整形外科		整形外科	整形外科	
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩野	藤巻	芦沢	萩野	藤巻	
	2	千賀	辰野	千賀		千賀	
	3	落合	落合		落合		
	4	藤巻	山下		山下	山下	
	5	装具外来		装具外来			
検査室 (内視鏡要確認)	内視鏡	午前(上部)			村松		
		午後(下部)			大学医師 渡邊		
	超音波	午前	心臓 田草川(き)	腹部 検査科	心臓 葉袋	心臓 葉袋	腹部 検査科
		午後	腹部 検査科		腹部 検査科		
小児科	1	内田	内田	久富	内田	内田	
	専門外来1(午後・予約のみ)	後藤(腎)	久富・勝又 (フォローアップ・乳腫)		予防接種 シナシス(冬季)	後藤・大山 (フォローアップ)	
	専門外来2(午後・予約のみ)	勝又(循環器)		神経 中村(幸)			
	専門外来3(午後・予約のみ)	神経 神谷	神経 中村(幸)	神経 石井	第1・3週 小野(摂食)		
産婦人科	1	午前	滝澤	雨宮	朝田	雨宮	滝澤
		午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来				
	2(予約のみ)	雨宮	朝田	岩佐	滝澤	朝田	
	3	岩佐	岩佐		岩佐	岩佐	
眼科		古屋(敏) (予約のみ)	古屋(敏)	古屋(敏)		古屋(敏)	
泌尿器科(予約のみ)		大学医師 奇数週					
耳鼻咽喉科			中澤		矢崎		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)  
(※水・金曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

※右記のものについて事前の予約が必要となります。  
●小児科 専門外来 ●乳児健診 毎週火・金曜日 ●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師  
●予防接種(小児科) 毎週木曜日 ●脳ドック 毎週月・火曜日午後 ●出生前遺伝カウンセリング外来 毎週月曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内  
●母乳外来(月～金曜日) ●フットケア(月～金曜日) ●育児相談(月～金曜日) (※事前の電話予約をお願いいたします)

### 特殊外来ご案内

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

### ◇平成30年度 職員採用試験案内◇

看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。  
申し込み方法 \*下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。  
連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長  
TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5597

### 作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。  
★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 常盤  
e-mail:tokiwa-k@nhokoufu.hosp.go.jp

編集後記  
甲府病院に赴任して、早くも4年が過ぎました。しかし単身赴任ということもあり、温泉めぐりなどの観光はほとんどしていないことに気がきました。せっかく山梨に来たのだから、休日を利用して温泉に入り、鳥もつ煮やほうとう鍋などの郷土料理を楽しみながらゆっくり過ごすのもいいかなと考えています。  
(K.K)